

学習課題（小学校5年生）



【国語】

<学習内容>

◆「伝えられてきた文化（教科書 154～155 ページ）」を学習します。

- (1) 154～155 ページを読み、落語や落語家について確認します。
- (2) 274～275 ページにある「しゅげむ寿限無」と「まんじゅうこわい」を声に出して読みましょう。

※155 ページにある QR コードから、落語「はつてんじん初天神」の動画を視聴することができます。可能な場合は、先に視聴し、話し方やしぐさなどを考えながら声に出して読みましょう。

- (3) 落語家が、身ぶりを交えたり、様々な表現方法で話したりする理由を考え、ノートや取組シートに書きましょう。
- (4) 知りたくなかったことや、見てみたいと思ったものについて調べてみましょう。

◆「カンジー博士の暗号解読」（教科書 156～157 ページ）」を学習します。

- (1) 156 ページを読み、上段の三つの暗号文をノートや取組シートに写し、○△□の記号を解読してみましょう。

※漢字や読み方が分からない時は、276～291 ページを見ましょう。漢字辞典や国語辞典があれば調べてみましょう。

飛	小	(例) △ □ ○
☆ 行	学	
機	☆ 校	

- (2) 157 ページの①②③の暗号文の解読に取り組み、ノートや取組シートに答えを書きましょう。
- (3) 同じ読み方の漢字を集めて、ノートや取組シートに、問題を作ってみましょう。

◆「古典の世界（教科書 158～159 ページ）」を学習します。

- (1) 158 ページを読み、孔子や「論語」について確認します。
- (2) 止まらずに読めるようになったら、言葉の響きやリズムを考えながら読みましょう。

※158 ページにある QR コードから、論語の朗読を聴くことができます。可能な場合は、先に聴いてから声に出して読みましょう。

- (3) 159 ページを読み、漢詩や「春暁」について確認します。
- (4) 止まらずに読めるようになったら、言葉の響きやリズムを考えながら読みましょう。

※159 ページにある QR コードから、春暁の朗読を聴くことができます。可能な場合は、先に聴いてから声に出して読みましょう。

- (5) 「論語」と「春暁」を交互に音読して漢文特有の言い回しやリズム

を楽しみましょう。

◆「漢字の広場」（教科書 160 ページ）」を学習します。

(1) 160 ページの絵を参考に、それぞれのマスに入っている都道府県の特徴を生かした文章を考えて書き、ノートや取組シートにすごろくを完成させましょう。

※教科書の＜例＞を参考に、文章をつくってみましょう。

				五	量	岩	一	い	青	ニ	食	北	ふ
				マ	が	手	回	で	森	マ	ベ	海	り
				ス	日	県	休	見	県	ス	て	道	だ
				進	本	の	み	と	の	進	カ	の	し
				む	一	ワ	。	れ	リ	む	が	じ	
				。	に	カ		る	ン	。	出	や	
					な	メ		。	ゴ		る	が	
					る	の			が		。	い	
					。	生			き			も	
						産			れ			を	

すごろく参考例

◆新出漢字「則」～「義」をノートや取組シートに練習します。
（読み方や筆順などは、教科書 291 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「伝えられてきた文化」では、落語を通して、昔の人のものの見方や考え方への興味に広げ、つなげていくことを大切にします。可能であればQRコードを読み取り落語の動画を視聴したり、NHK for schoolで「落語」と検索したりして、落語の動画を視聴したりする機会をもたせていただけたらと思います。
- ・「カンジ博士の暗号解読」では、同じ読み方の漢字の中から正しい漢字を選んで書くことが大切になります。漢字辞典や国語辞典がある場合は、同じ読み方の漢字を探したり、クイズにしたりして、身の回りにある漢字を紹介してあげてください。
- ・「古典の世界」では、漢文を音読する中で、言葉の響きに親しむとともに、大体の内容をつかむことが大切になります。そのために、QRコードを読み取って音声聞かせる方法もあります。
- ・「漢字の広場」では、都道府県の漢字を正しく書き、文章全体の構成や書き表し方に気を付けて書くことが大切になります。大きい紙を用意して、実際にすごろくをつくってみる活動も行うことができるのではないかと思います。